

## 46 エドハゼ

(ハゼ科)

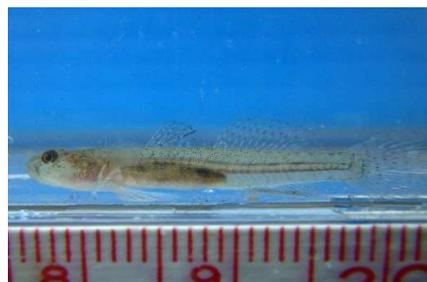
兵庫県ランク:A

*Gymnogobius macrognathos*

環境省ランク:VU

## 種の概要

全長5cm程度。河口干潟や前浜干潟の砂泥底に生息する。無脊椎動物のスナモグリ類が作った生息孔を生息場、産卵場を利用し、雄は生息孔に産み付けられた卵を保護する。チクゼンハゼに似るが、本種では下あごにひげ状の突起がないことで区別できる。国内では宮城県から宮崎県の太平洋沿岸、瀬戸内海沿岸、兵庫県から熊本県にかけての日本海、東シナ海沿岸に分布する。



写真提供:庄子 恭平

## 県内における生息状況及びその他特記事項

県内での分布は日本海側の1河川、瀬戸内海側の数河川の河口域に限られる。河口干潟、前浜干潟などに生息するが、個体数は少ない。

## 保護上の留意点

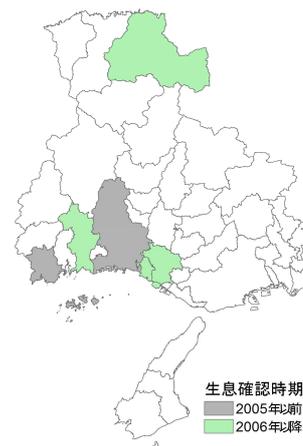
本種は生息場所として無脊椎動物の生息孔を利用しており、無脊椎動物を含めた干潟環境の保全が求められる。埋め立てや河道掘削による直接的な生息地の消失を避けるほか、生息地の上下流の改変により、河川や潮の流れ、土砂供給量の変化などを通して引き起こされる間接的な生息地の消失（本種の生息に適した底質の消失）にも留意する必要がある。

## 県内分布

加古川市、高砂市、姫路市、赤穂市、たつの市、豊岡市

## 主要な選定理由

|     |    |   |
|-----|----|---|
| 人為性 | 激減 | ○ |
|     | 環境 | ○ |
|     | 捕獲 |   |
| 特殊性 | 遺伝 |   |
|     | 特殊 | ○ |
|     | 孤立 |   |
| 学術性 | 極限 | ○ |
|     | 限界 |   |
|     | 希少 | ○ |



【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励